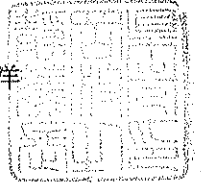




平成19年 4月27日

国土交通省道路局長 殿

藤枝市長 松野輝洋



中期的な計画作成にあたっての意見

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い施策

- ・広域幹線道路の整備や大型プロジェクトに関連するアクセス道路等の整備は、都市間の移動に要する時間を短縮するとともに、交通混雑の緩和、輸送費用の削減にも繋がり、利用者の利便性の向上と、地域産業の振興に大いなる効果があるので、積極的に推進していただきたい。

2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- ・効率化の徹底を図る上では、計画的に道路整備を進めるとともに、短期間で事業を完了することが有効と考えます。しかしながら、現在の地方自治体の財政状況は、非常に厳しい状況にありますので、道路整備事業の補助率のアップによる事業終了のスピードアップをお願いしたい。

3. その他、道路施策や道路の整備・管理全般に関する意見

- ・高齢者や障害者等の移動の利便性や安全性の向上を図ることを目的として交通バリアフリーの推進をしていただきたい。
- ・法定外公共物（いわゆる赤道等）の譲与が行われ、市町において管理し易い環境が整えられました。現在の高速道路等の側道用地の譲与や、今後、進められる高速道路等の整備における側道についても、管理のみの市町への移管ではなく、用地についても譲与されるようお願いしたい。
- ・災害時において、道路空間はライフラインであるとともに、延焼防止にも大いに効果を発揮し、幅員12m以上の道路があると延焼防止率は100%になると伺っております。災害対策にもなるので、幅員12m以上の道路について、補助採択の要件を緩和されたい。

参 考

〔藤枝市における課題〕

1. 富士山静岡空港の開設に伴う、周辺道路整備

1) 志太中央幹線全線整備（一部実施中）

- ・空港利用者の利便性をさらに向上させるアクセス道路である。

2) 現東名高速道路新インターチェンジ設置（スマートインターチェンジ）

- ・空港利用者の利便性の向上と地域産業のさらなる振興に効果が大きい。

2. 新東名高速道路開通に伴う、アクセス道路整備

1) 都市計画道路焼津広幡線整備（県施行にて実施中）

2) 県道静岡朝比奈藤枝線整備(未施行)

- ・新東名と現東名を結ぶとともに、新東名の利用率向上が図れる。

3. 基幹道路の整備

1) 現国道1号の環境整備

- ・市内において大手交差点付近の歩道整備を進めていただいているが、さらに歩道整備を中心に整備を進めていただき、歩行者や自転車利用者の安全・安心の度合いを高めていただきたい。

2) 国道1号藤枝バイパスの4車線化整備

- ・平成17年3月末のバイパスの無料化以降、多くの通過車両がバイパスを利用するようになり、交通量も大幅に増え、すでに容量をオーバーしていると思われる。また、大型車両が多いため、通過車両の安全面や事故対策上からも、早期4車線化をお願いしたい。

4. 幹線道路整備

1) 小川島田幹線整備（焼津～藤枝～島田）

2) 天王町仮宿線整備（藤枝～岡部）

3) 三輪立花線整備（藤枝～岡部）

- ・2) 3) については、合併協議を進めようとしている岡部町とを結ぶ主要道路であり、整備に向けた協力をお願いしたい。